

事業番号	11 05 04	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	流域治水に関する事業	部局	建設部	課・室	河川課			
		実施期間	M14 ~	E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	県民の豊かさ全国トップレベルを維持							
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化							

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 令和元年東日本台風により大きな被害を受けた長野県としては、被害軽減のため、流域対策として雨水貯留施設の整備拡充を図る。	
	【これまでの取組】 令和2年6月、国土交通省は、昨今の頻発する洪水被害を受け、「治水」の方針を「流域治水」へ転換し、全水系において「流域治水プロジェクト」を策定、「流域治水」の取組を推進することとした。このことから、長野県としても県内全域で取組を推進することとし、雨水貯留施設整備を推進する。	
令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	課 題	今後の方向性
	「流域における取組」は、市町村や民間事業者、県民が一体となり、協働して取り組む必要があるが、「流域治水」の意識が浸透しておらず、取り組みが不十分な状況。	県が率先して取り組みを行い、情報を発信することにより、市町村や県民の取組を促す。

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	○財源更正による補正
--------------------	------------

指標の状況及び目標値 [/ : 改善、\ : 悪化、→ : 変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末		R3年度 目標値	事業 コスト	区分(単位:千円)		
R1年度		R2年度末		R1年度	R2年度				R3年度								
事業 コスト	前年度繰越	0		345,705		666,575			予 算 額	当初予算	418,200		825,845		187,180		
	補正予算	31,246		-64,703		0				合計(A)	449,446		1,106,847		853,755		
	うち一般財源	37,985		355,299		381,602				決算額(B)	103,741		439,241				
	職員数(人)	0.6		0.6		0.6											
成果指標 設定理由	①諏訪湖創生ビジョンで示されている目標値であり、河川環境整備につながる目安として設定した。																

事業名	流域治水に関する事業	部局	建設部	課・室	河川課
-----	------------	----	-----	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
		計	千円	計	千円	計	千円
1	河川環境事業費					当初予算	187,180
						補正予算	0
		計	449,446	計	761,142	計	187,180
			千円		千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	地下貯留施設設置事業	直接	県有施設において、各施設の改修等に合わせ設置することで、「流域治水」の取組を進める。
2	雨水貯留タンク設置事業	直接	流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、一旦「貯留」することにより河川の負担を軽減させる「雨水貯留施設の設置推進」として、雨水貯留タンクを設置する。(100箇所)
3	流域治水事業に係る普及啓発事業	委託	流域治水の取り組みを促すため、啓発番組等の作成、シンポジウム等を行う。 ・「雨水貯留の取組」を促す番組、CM等の作成 ・アルクマの雨水貯留促進バージョンを作成、啓発用シールとして雨水貯留タンクへ掲出 ・住民や自治会を対象に流域治水の事例や取組を紹介するため、梅雨や台風シーズンを前にシンポジウムを開催等
4	中小河川の浸水想定区域図作成事業	委託	きめ細やかな情報提供のため、中小河川においても浸水想定区域図を作成し、公開する。(71河川)